

# 【消防施設編】

# 北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	消防本部 (新)				
-----	----------	--	--	--	--

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	135
-----	-------	-----	------	------	-----

所管部課	消防本部
------	------

## 1 土地データ

所在地 (地区)	北進町1丁目3番地1	敷地面積	2,995 m <sup>2</sup>
	(北広島団地)	うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成13年度
建物構造	RC	延床面積	1,361 m <sup>2</sup>	経過年数	17年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	544,400千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	9,268円/人

## 3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	-人	-人	-人	-人	市直営		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-	支 出	①施設維持コスト	修繕料	4,984
		国費	-		火災保険料	-	
		道費	-		維持管理委託料	92	
		その他	3,500		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)	9,106		工事請負費	-	
	合 計		12,606	②施設運営コスト	その他維持費	-	
				小 計	5,076		
				②施設運営コスト	人件費	3,578	
				光熱水費	3,952		
			運営委託料	-			
			その他運営費	-			
			小 計	7,530			
			合 計(①+②)	12,606			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m <sup>2</sup> 当たり		
単位コスト	-円/人		215円/人		9,262円/m <sup>2</sup>		



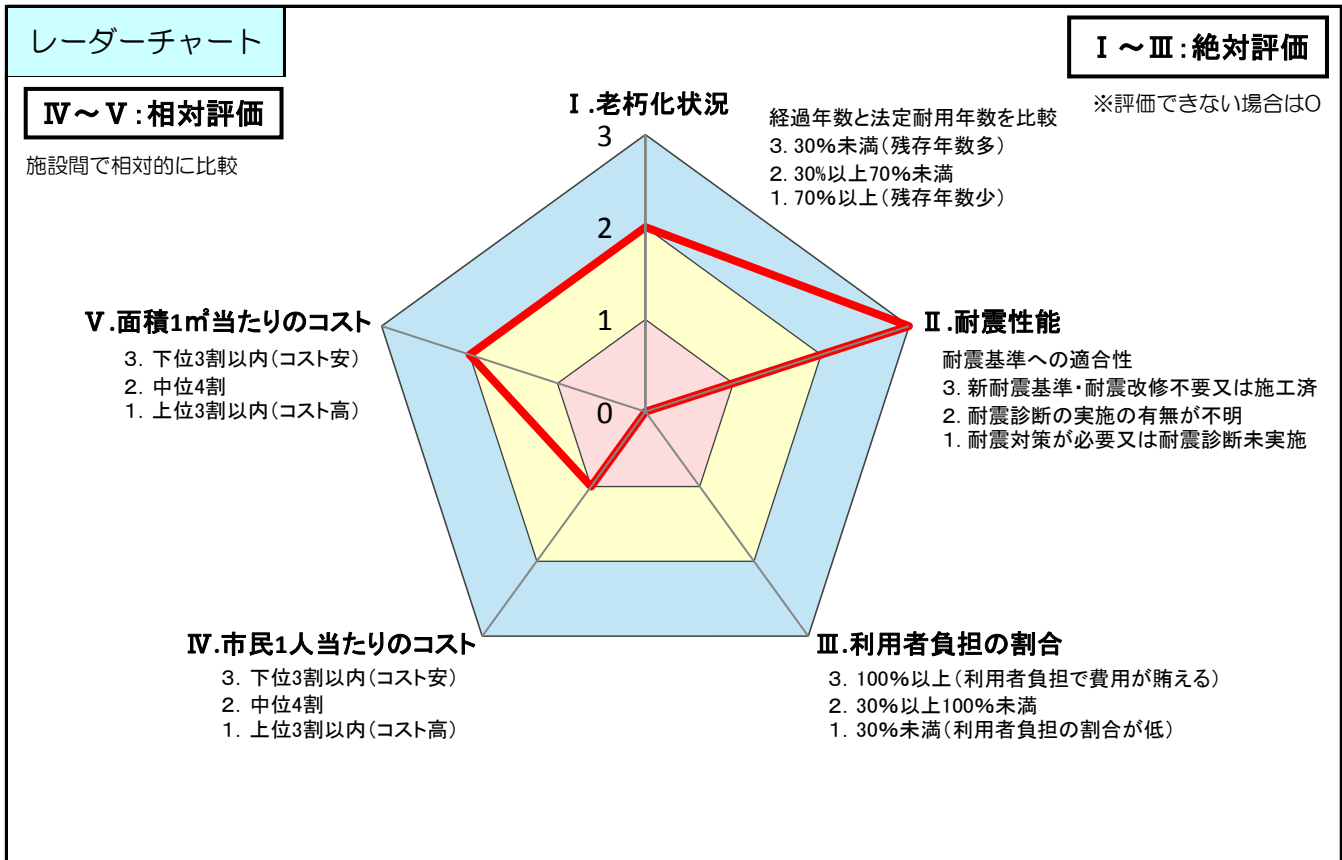
## 4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H26	空調設備修繕	193	H29	2階トイレ手洗い排水管ほか修繕	33
H26	ボイラー設備修繕	486	H29	外調機ファン`ルト交換	80
H26	2階建具変更修繕	307	H29	救急隊仮眠室網戸取付工事	49
H27	エアコンガス充填及び漏洩修繕	808	H29	1階事務所ブラインド修繕	49
H27	昇降機修繕	155	H29	2階事務所ブラインド修繕	16
H28	昇降機修繕	155	H29	2階トイレ鍵及び消防隊仮眠室ドア修繕	48
H28	温水ボイラー点検修繕	484			
H28	屋上自家発電設備充電装置交換	659			
H28	玄関自動ドアセンサー交換	105			
H29	エアコン更新工事	4,709			

## 5 特記事項

光熱水費は旧庁舎と延床面積により按分

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p><b>I. 老朽化状況</b></p>	<p><b>建物の老朽化を示す指標 (%)</b> 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>34 (%)</p>
<p><b>II. 耐震性能</b></p>	<p><b>建物の耐震安全性を示す</b> 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p><b>III. 利用者負担の割合</b></p>	<p><b>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</b> 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>- (%)</p>
<p><b>IV. 市民1人当たりのコスト</b></p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>215 (円/㎡)</p>
<p><b>V. 面積1㎡当たりのコスト</b></p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>9,262 (円/㎡)</p>
<p><b>総合評価</b></p>	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

# 北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	消防本部 (旧)			
-----	----------	--	--	--

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	136
-----	-------	-----	------	------	-----

所管部課	消防本部
------	------

## 1 土地データ

所在地 (地区)	北進町1丁目3番地1	敷地面積	2,995 m <sup>2</sup>
	(北広島団地)	うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和49年度
建物構造	RC	延床面積	863 m <sup>2</sup>	経過年数	44年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	345,200千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	5,877円/人

## 3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	-人	-人	-人	-人	市直営		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		
	収 入	利用料等	-		①施設維持コスト	修繕料	205
		国費	-			火災保険料	-
		道費	-			維持管理委託料	-
		その他	-			敷地借上料	-
		市費(一般財源)	2,711			工事請負費	-
	合 計		2,711		②施設運営コスト	その他維持費	-
					小 計	205	
					②施設運営コスト	人件費	-
						光熱水費	2,506
			運営委託料	-			
			その他運営費	-			
			小 計	2,506			
			合 計(①+②)	2,711			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m <sup>2</sup> 当たり		
単位コスト	-円/人		46円/人		3,141円/m <sup>2</sup>		



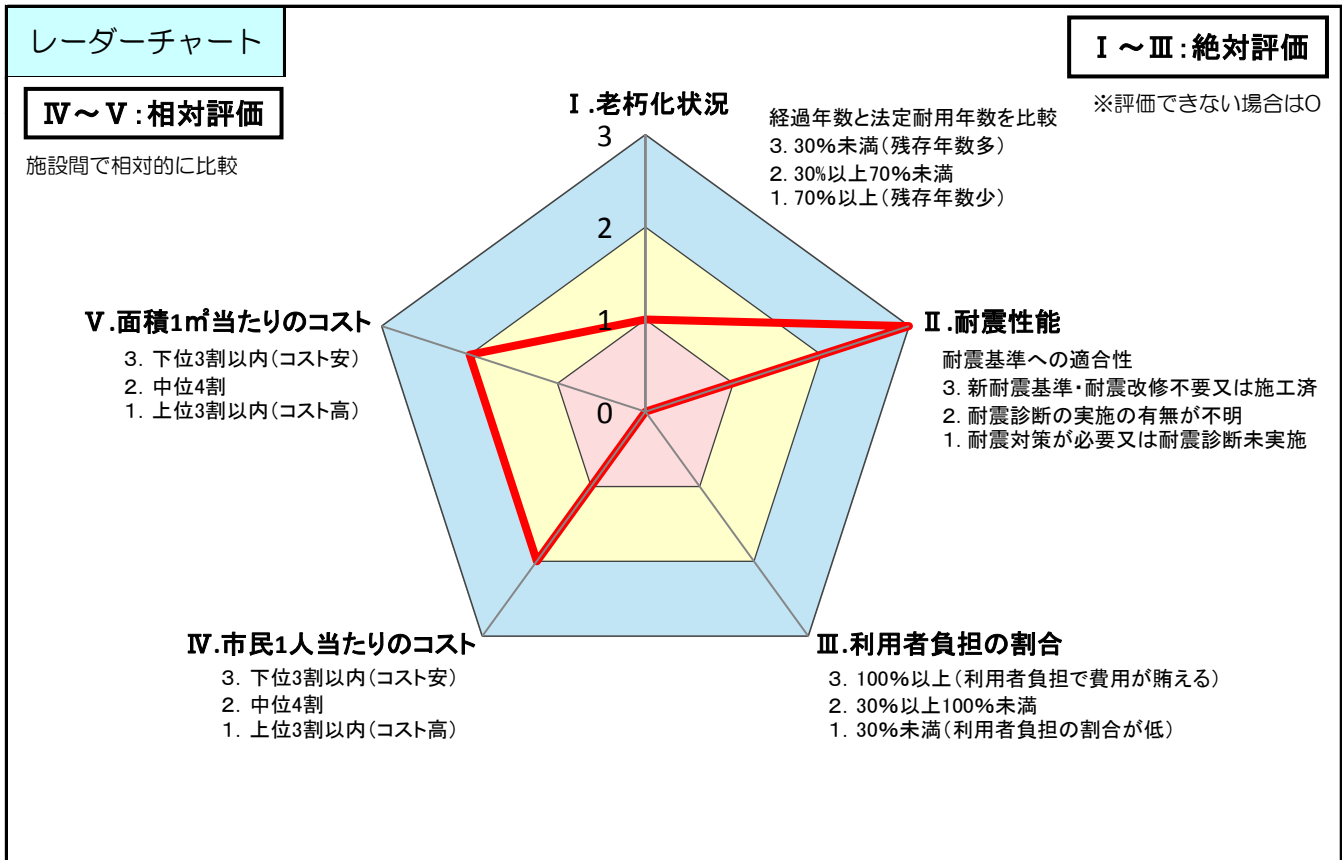
## 4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H11	ホース乾燥塔昇降装置改修	5,000	H29	車庫オーバードアバネ破損に伴う修繕	205
H22	車庫前舗装修繕、車庫エプロンピット改修	2,877			
H22・23	車庫オーバードア修繕	252			
H23	車庫ピット内パネルヒーター修繕	731			
H24	屋上防水改修	5,145			
H24	耐震補強	3,694			
H24	車庫修繕	2,789			
H26	車庫電気配線修繕	158			
H27	車庫オーバードアバネ破損に伴う修繕	152			
H28	車庫オーバードアバネ破損に伴う修繕	331			

## 5 特記事項

光熱水費は新庁舎と延床面積により按分。近年、旧庁舎(車庫)の外壁クラックに壁内部から錆が噴出しているのが認められる。車庫エプロン部分及び前面アphaltに著しい欠損が認められる。車庫前の常夜灯及び作業棟に著しい破損が認められる。(H29年度実施調査回答)

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p><b>I. 老朽化状況</b></p>	<p><b>建物の老朽化を示す指標 (%)</b> 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>88 (%)</p>
<p><b>II. 耐震性能</b></p>	<p><b>建物の耐震安全性を示す</b> 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p><b>III. 利用者負担の割合</b></p>	<p><b>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</b> 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>- (%)</p>
<p><b>IV. 市民1人当たりのコスト</b></p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>46 (円/㎡)</p>
<p><b>V. 面積1㎡当たりのコスト</b></p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>3,141 (円/㎡)</p>
<p><b>総合評価</b></p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

# 北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	消防大曲出張所（新）			
-----	------------	--	--	--

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	137
-----	-------	-----	------	------	-----

所管部課	消防本部
------	------

## 1 土地データ

所在地 (地区)	大曲2番地8 (大曲)	敷地面積	2,775 m <sup>2</sup>
		うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ

複合・併設施設	消防第三分団			建築年度	平成26年度
建物構造	RC	延床面積	886 m <sup>2</sup>	経過年数	4年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	354,400千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	6,033円/人

## 3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	市直営			
<b>ファシリティコスト</b> 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		-	① 施設維持コスト	修繕料	31
		国 費	-		-		火災保険料	-
		道 費	-		-		維持管理委託料	-
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	2,604		-		工事請負費	-
	合 計		2,604		-	その他維持費	-	
						小 計	31	
						② 施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	2,573
				運営委託料	-			
				その他運営費	-			
				小 計	2,573			
				合 計(①+②)	2,604			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m <sup>2</sup> 当たり			
単位コスト	-円/人		44円/人		2,939円/m <sup>2</sup>			



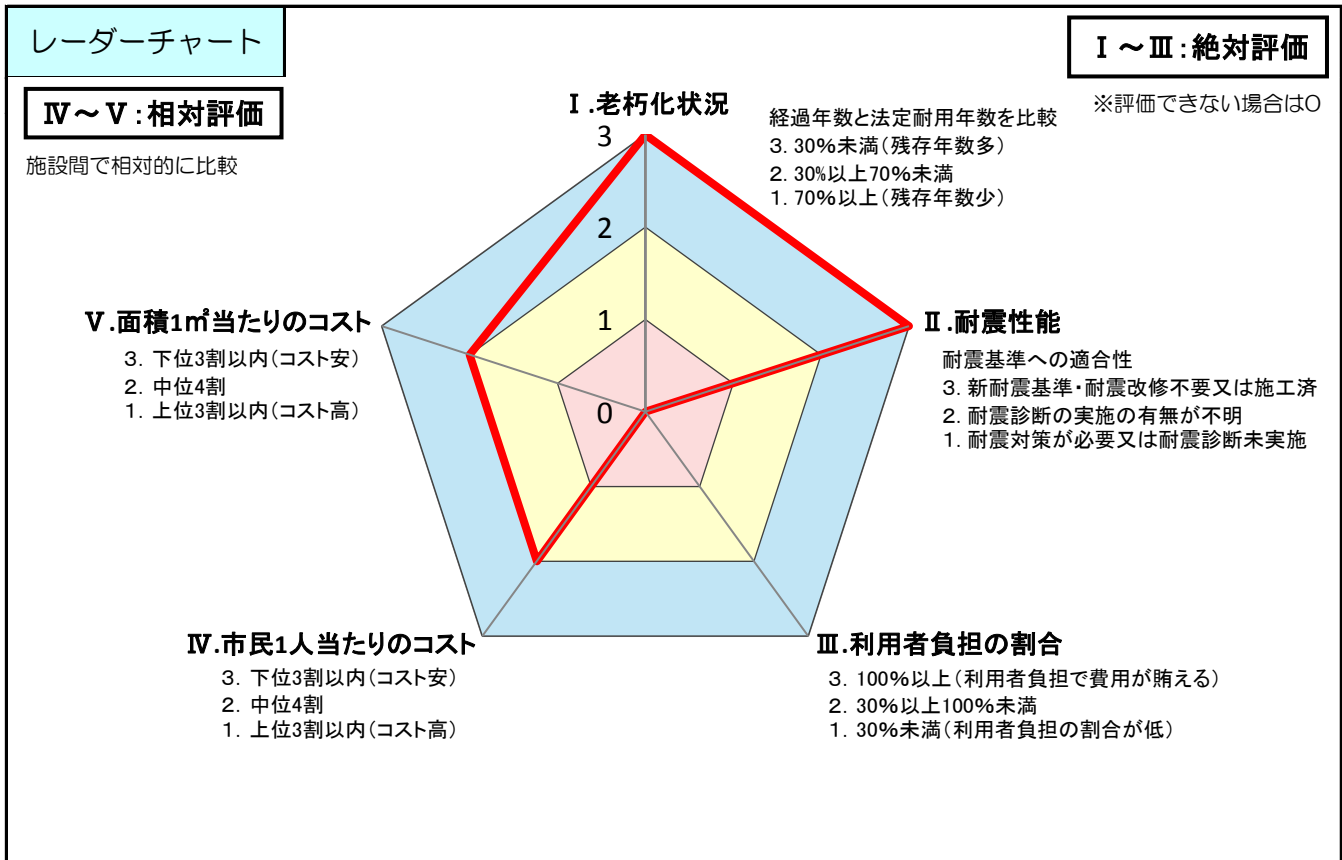
## 4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H29	給湯設備ICカット基盤交換	31			

## 5 特記事項

--

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

<b>I. 老朽化状況</b>	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)</p> <p>数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	8 (%)
<b>II. 耐震性能</b>	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示</p> <p>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
<b>III. 利用者負担の割合</b>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト)</p> <p>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
<b>IV. 市民1人当たりのコスト</b>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口</p> <p>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	44 (円/㎡)
<b>V. 面積1㎡当たりのコスト</b>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積</p> <p>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	2,939 (円/㎡)
<b>総合評価</b>	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	



# 北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	消防西の里出張所				
-----	----------	--	--	--	--

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	138
-----	-------	-----	------	------	-----

所管部課	消防本部
------	------


## 1 土地データ

所在地 (地区)	西の里東1丁目4番地20 (西の里)	敷地面積	1,398 m <sup>2</sup>
		うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成5年度
建物構造	RC	延床面積	320 m <sup>2</sup>	経過年数	25年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	128,085千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	2,181円/人

## 3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト ②施設運営コスト	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳			
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-		-		火災保険料	-
		道費	-		-		維持管理委託料	-
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	930		-		工事請負費	-
	合 計		930		-	その他維持費	-	
	小 計		-		-	小 計		-
	①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費				930	②施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	930
運営委託料				-				
その他運営費				-				
小 計		930	-	小 計		930		
合 計(①+②)		930	-	合 計(①+②)		930		
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m <sup>2</sup> 当たり			
単位コスト	-円/人		16円/人		2,906円/m <sup>2</sup>			

## 4 修繕履歴

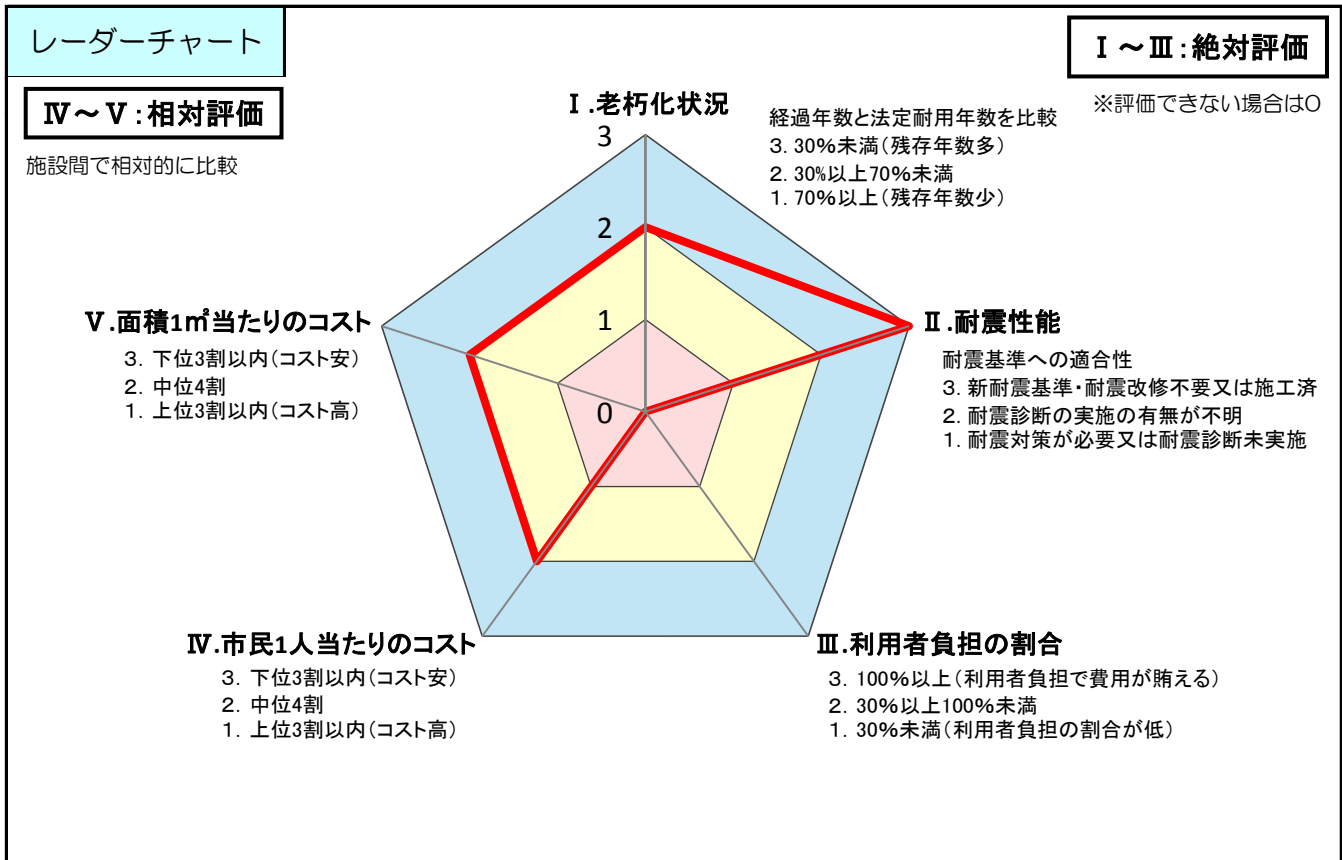
実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H24	油庫換気設備改修	247			
H25	暖房設備修繕	249			
H26	電話交換機修繕	71			
H27	給湯・暖房設備取換修繕	1,275			
H28	給湯配管修繕	424			
H28	車庫オーバードア修繕	29			

## 5 特記事項

光熱水費は第四分団と延床面積により按分



6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p><b>I. 老朽化状況</b></p>	<p><b>建物の老朽化を示す指標 (%)</b> 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>50 (%)</p>
<p><b>II. 耐震性能</b></p>	<p><b>建物の耐震安全性を示す</b> 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p><b>III. 利用者負担の割合</b></p>	<p><b>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</b> 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>- (%)</p>
<p><b>IV. 市民1人当たりのコスト</b></p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>16 (円/㎡)</p>
<p><b>V. 面積1㎡当たりのコスト</b></p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>2,906 (円/㎡)</p>
<p><b>総合評価</b></p>	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

# 北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	消防第一分団				
-----	--------	--	--	--	--

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	139
-----	-------	-----	------	------	-----

所管部課	消防本部
------	------

## 1 土地データ

所在地 (地区)	共栄町1丁目1番地1	敷地面積	355 m <sup>2</sup>
	( 東部 )	うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成13年度
建物構造	SRC	延床面積	180 m <sup>2</sup>	経過年数	17年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	72,000千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	1,226円/人

## 3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-		-		火災保険料	2
		道費	-		-		維持管理委託料	24
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	549		-		工事請負費	-
	合 計		549		-	その他維持費	-	
						小 計	26	
						②施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	523
				運営委託料	-			
				その他運営費	-			
				小 計	523			
				合 計(①+②)	549			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m <sup>2</sup> 当たり			
単位コスト	-円/人		9円/人		3,050円/m <sup>2</sup>			



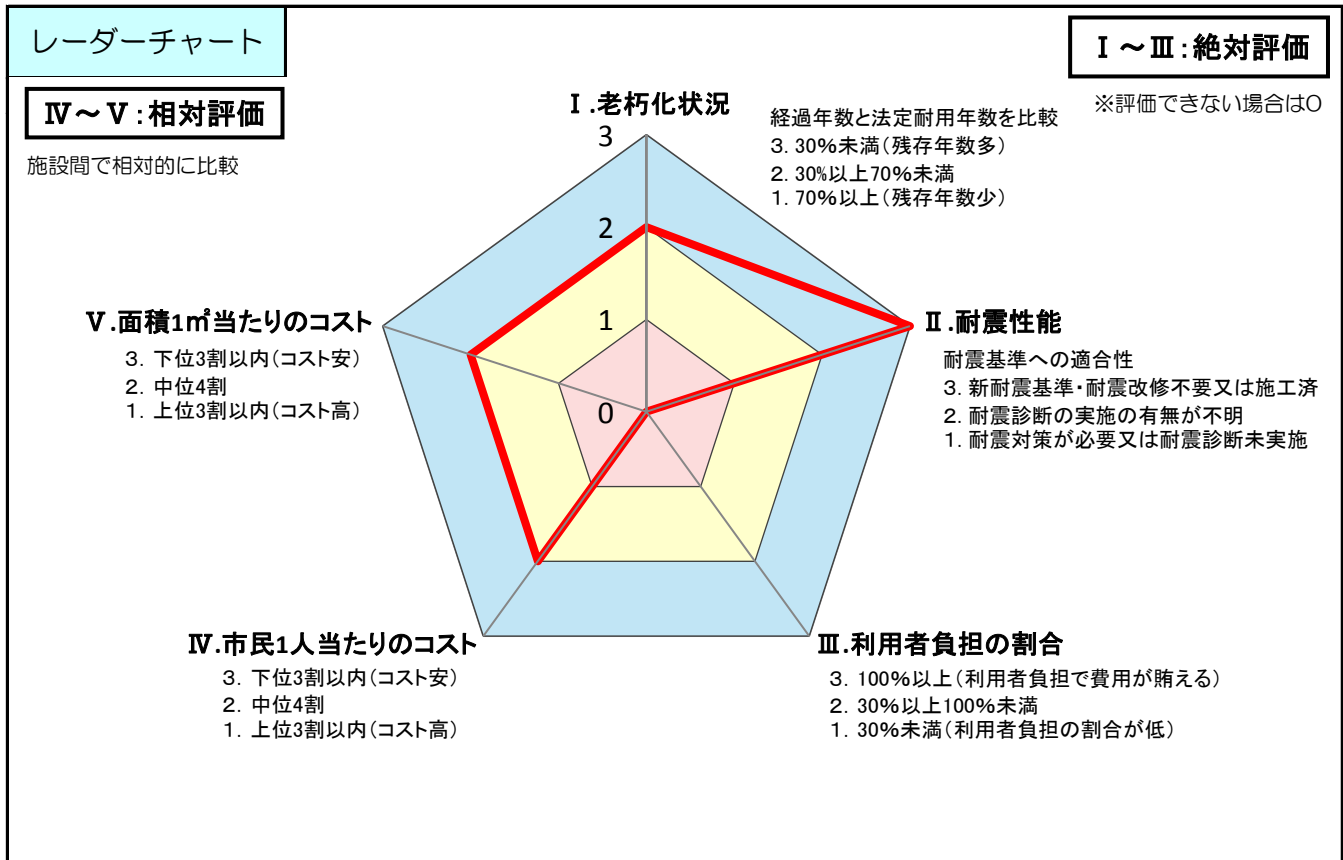
## 4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H22	女性の利用に耐えられる施設への改修工事	546			

## 5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<b>I. 老朽化状況</b>	<p><b>建物の老朽化を示す指標 (%)</b> 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	34 (%)
<b>II. 耐震性能</b>	<p><b>建物の耐震安全性を示す</b> 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
<b>III. 利用者負担の割合</b>	<p><b>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</b> 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
<b>IV. 市民1人当たりのコスト</b>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	9 (円/㎡)
<b>V. 面積1㎡当たりのコスト</b>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,050 (円/㎡)
<b>総合評価</b>	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

# 北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	消防第二分団				
-----	--------	--	--	--	--

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	140
-----	-------	-----	------	------	-----

所管部課	消防本部
------	------

## 1 土地データ

所在地 (地区)	輪厚中央4丁目14番地3	敷地面積	824 m <sup>2</sup>
	( 西部 )	うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和56年度
建物構造	CB	延床面積	120 m <sup>2</sup>	経過年数	37年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	48,000千円	法定耐用年数	41年	市民1人当たり更新コスト	817円/人

## 3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-		-		火災保険料	2
		道費	-		-		維持管理委託料	-
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	350		-		工事請負費	-
	合 計		350		-	その他維持費	-	
						小 計	2	
						②施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	348
				運営委託料	-			
				その他運営費	-			
				小 計	348			
				合 計(①+②)	350			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m <sup>2</sup> 当たり			
単位コスト	-円/人		6円/人		2,917円/m <sup>2</sup>			



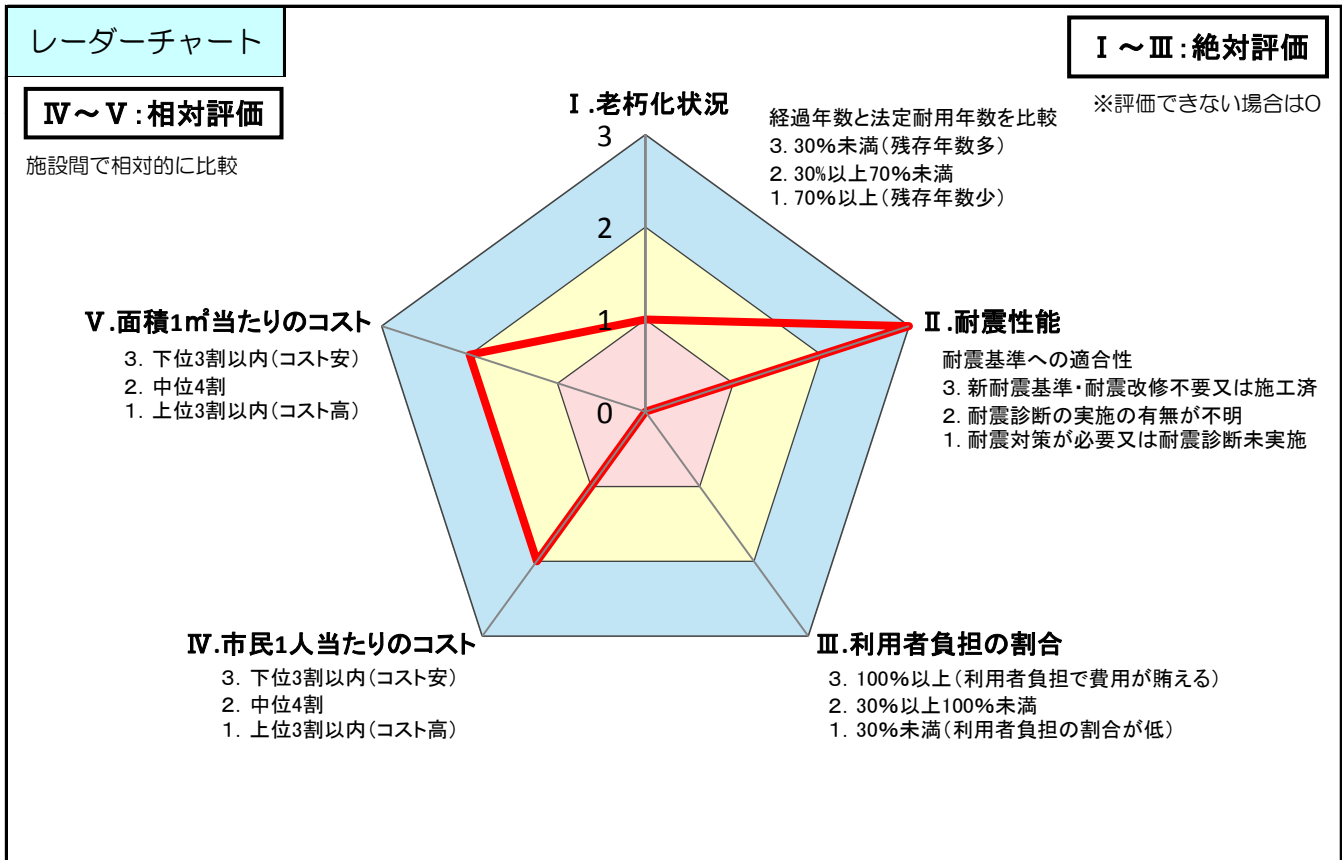
## 4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H3	サイレン塔の塗装修繕	439			
H22	女性の利用に耐えられる施設への改修	735			
H25	モーターサイレンヒーター修繕	473			
H26	車庫オーバードア修繕	227			

## 5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<b>I. 老朽化状況</b>	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)</p> <p>数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	90 (%)
<b>II. 耐震性能</b>	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示</p> <p>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
<b>III. 利用者負担の割合</b>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト)</p> <p>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
<b>IV. 市民1人当たりのコスト</b>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口</p> <p>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	6 (円/㎡)
<b>V. 面積1㎡当たりのコスト</b>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積</p> <p>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	2,917 (円/㎡)
<b>総合評価</b>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

# 北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	消防第四分団				
-----	--------	--	--	--	--

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	141
-----	-------	-----	------	------	-----

所管部課	消防本部
------	------

## 1 土地データ

所在地 (地区)	西の里東1丁目4番地20 (西の里)	敷地面積	1,398 m <sup>2</sup>
		うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和60年度
建物構造	CB	延床面積	147 m <sup>2</sup>	経過年数	33年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	58,707千円	法定耐用年数	41年	市民1人当たり更新コスト	999円/人

## 3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等	-	-	支 出	修繕料	400	
		国 費	-	-		①施設維持コスト	火災保険料	-
		道 費	-	-		維持管理委託料	-	
		その他	-	-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)	826	826		工事請負費	-	
	合 計		826	826	その他維持費	-		
					小 計	400		
					②施設運営コスト	人件費	-	
					光熱水費	426		
				運営委託料	-			
				その他運営費	-			
				小 計	426			
				合 計(①+②)	826			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m <sup>2</sup> 当たり			
単位コスト	-円/人		14円/人		5,619円/m <sup>2</sup>			



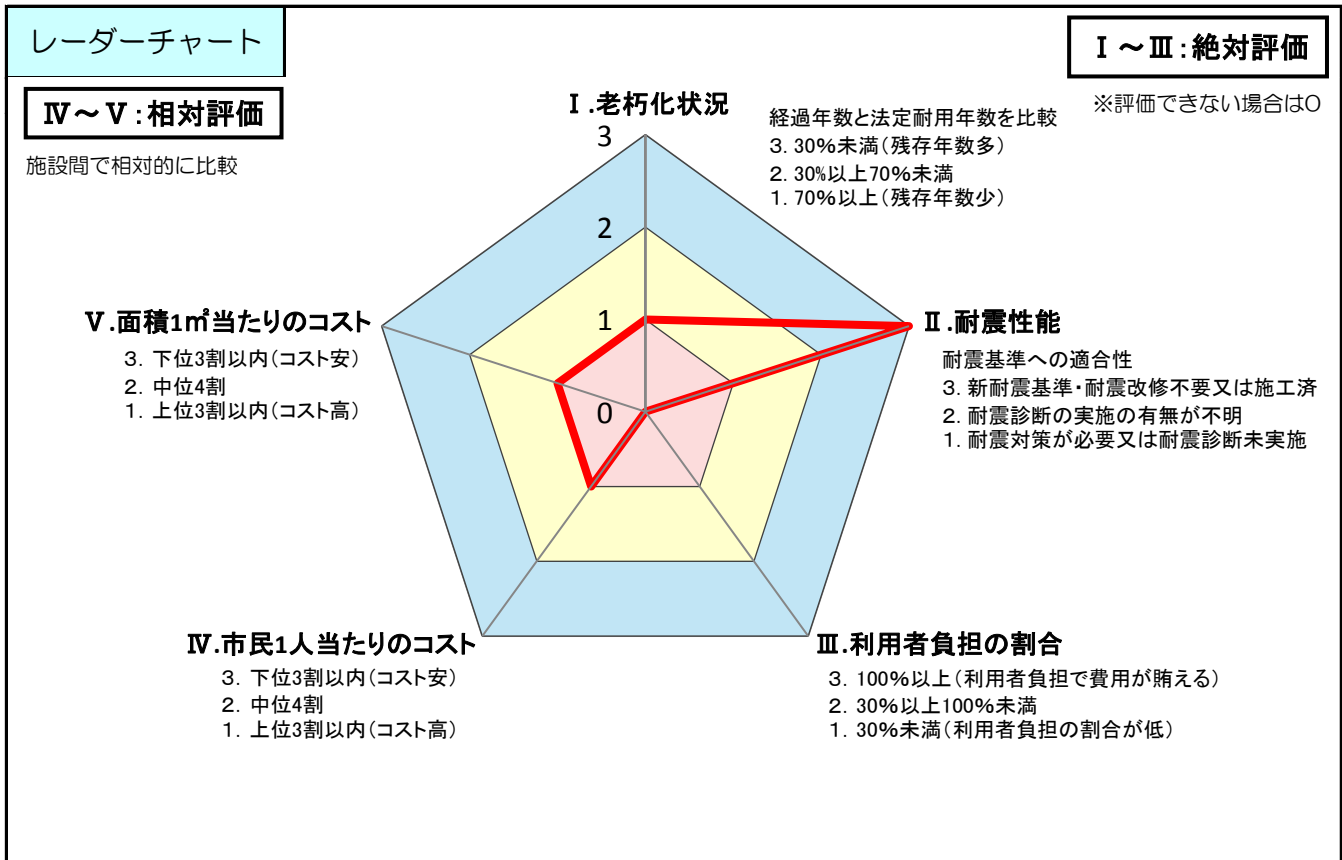
## 4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H27	詰所車庫オーバードア点検修繕	72			
H29	詰所屋根修繕	400			

## 5 特記事項

光熱水費は西の里出張所と延床面積により按分

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<b>I. 老朽化状況</b>	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)</p> <p>数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	80 (%)
<b>II. 耐震性能</b>	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示</p> <p>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
<b>III. 利用者負担の割合</b>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト)</p> <p>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
<b>IV. 市民1人当たりのコスト</b>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口</p> <p>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	14 (円/㎡)
<b>V. 面積1㎡当たりのコスト</b>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積</p> <p>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	5,619 (円/㎡)
<b>総合評価</b>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	